

機能化学品事業説明

2022年 8 月 30 日

【証券コード 4401】



機能化学品の現在地

1. 機能化学品の概要 … P3

機能化学品の将来像

2. 中期経営計画『ADX 2023』 … P12

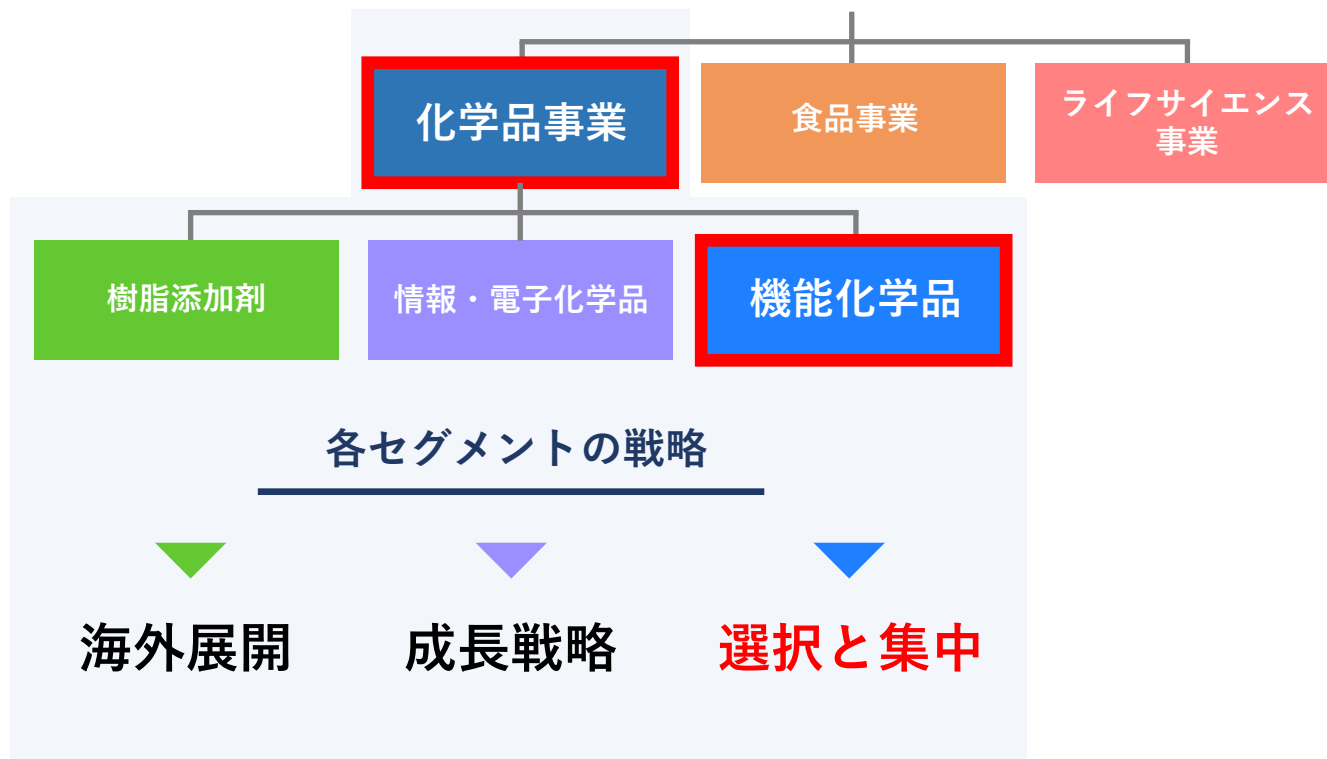
3. 機能化学品の事業戦略 … P13

4. まとめ … P24

機能化学品の現在地

～ エンジンオイル用潤滑油添加剤
『サクラループ』が牽引 ～

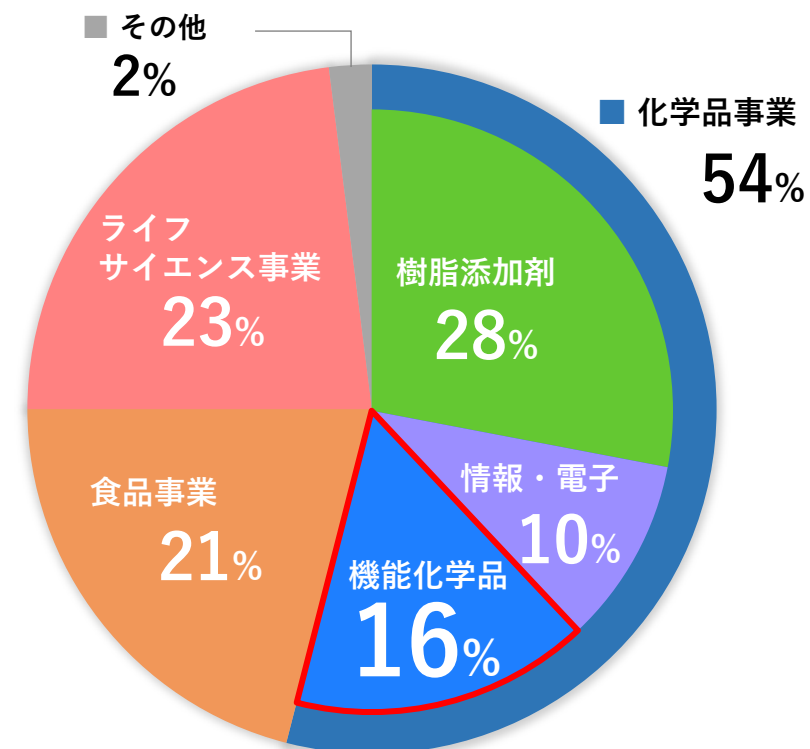
機能化学品の位置づけ



連結売上高

2021年度：3,612億円*

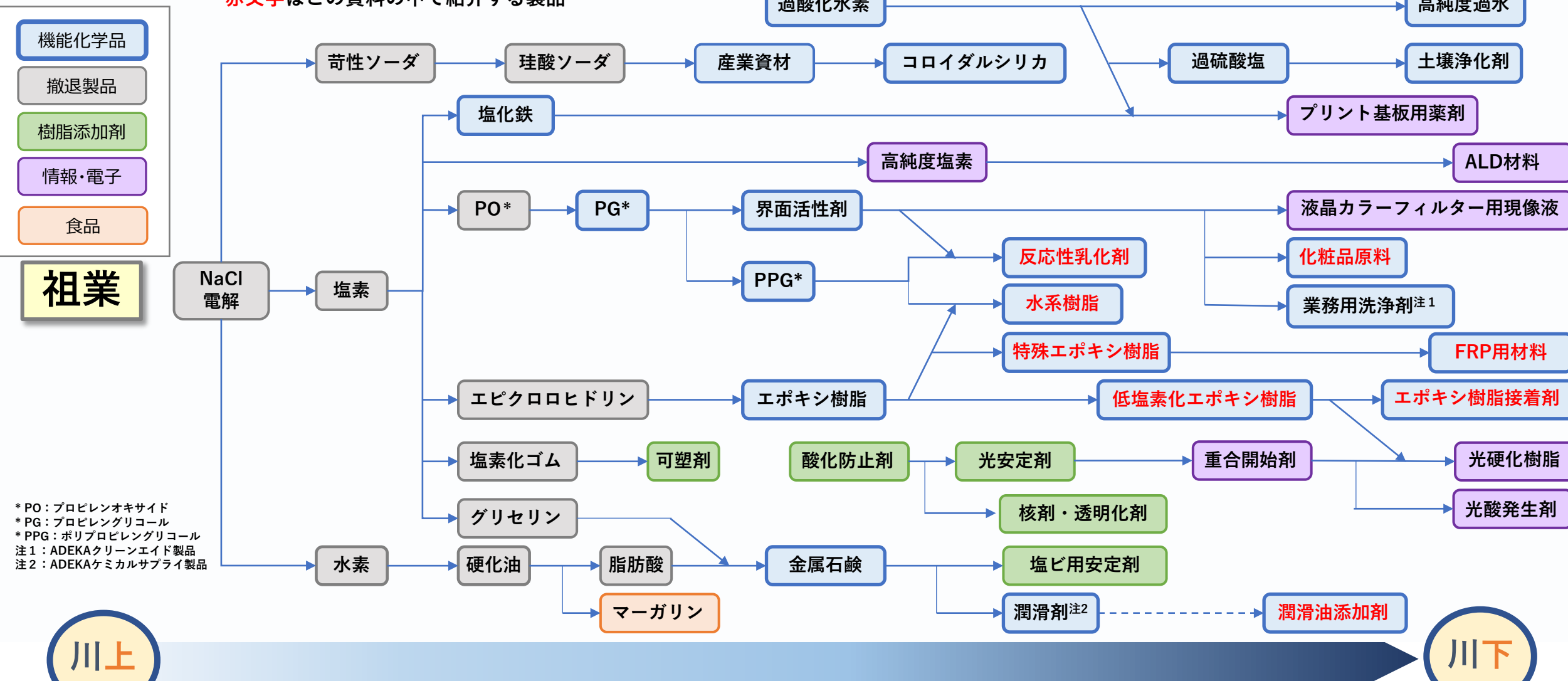
* 2021年度の連結売上高は会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値



化学品事業は全社売上高の54% 機能化学品の戦略は選択と集中

1. 機能化学品の概要 技術変遷

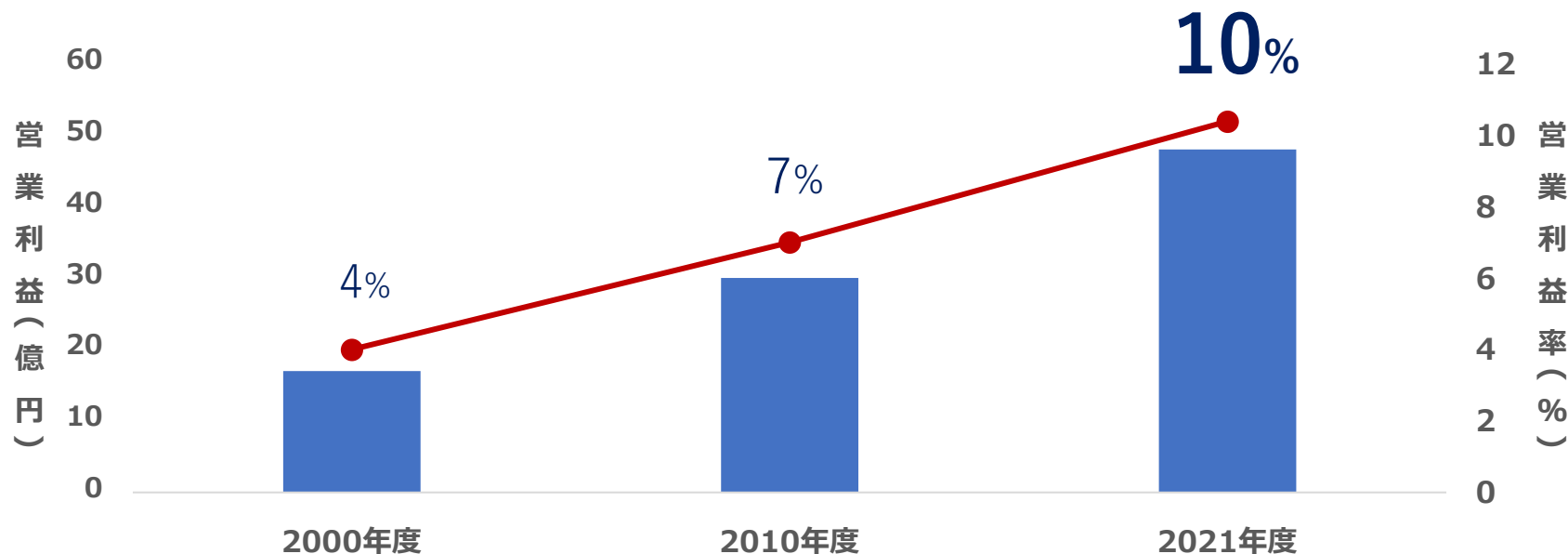
赤文字はこの資料の中で紹介する製品



過去20年における「選択と集中」の成果

単独

■ 営業利益
● 営業利益率



■ 過去20年間で撤退した製品
■ 高付加価値品
■ 基幹製品

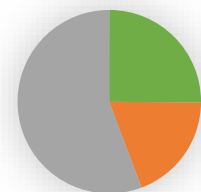
売上高

429億円

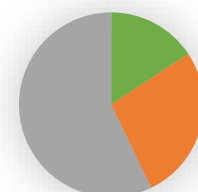
431億円

423億円

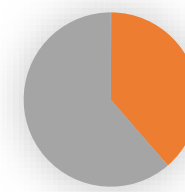
構成比
(売上高)



19%



27%



高付加価値品率

38%

不採算製品の撤退と高付加価値品（戦略製品）へのシフトにより収益性を改善

用途別売上高構成比(2021年度)

自動車・生活関連が主体

エレクトロニクス

半導体、電子部品（洗浄・表面処理）、接着剤

- 高純度過水
- 過酸化水素
- 過硫酸塩類
- **エポキシ樹脂接着剤**
- **低塩素エポキシ樹脂**
- 界面活性剤

環境配慮

土木・建築

塗料、床材、止水・土壌改良

- **反応性乳化剤**
- **水系樹脂**
- エポキシ樹脂
- 産業資材
- 界面活性剤

次世代自動車

自動車

エンジンオイル、塗料・コーティング、接着剤

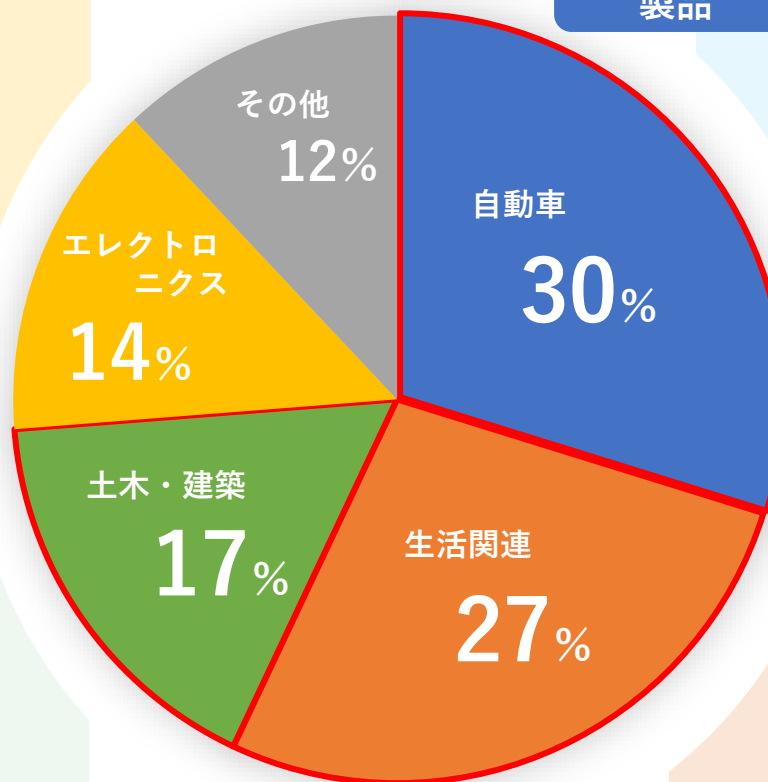
- **潤滑油添加剤**
- **エポキシ樹脂接着剤**
- **特殊エポキシ樹脂**
(構造用接着付与剤)
- 界面活性剤
- プロピレングリコール

環境配慮

生活関連

日用品、化粧品・トイレタリー、食品用途

- **化粧品原料**
- **反応性乳化剤**
- **水系樹脂**
- エポキシ樹脂
- 界面活性剤
- プロピレングリコール
- 過酸化水素
- 過炭酸ソーダ



* 太字は「戦略製品」：市場成長が見込める分野で、伸長が期待でき、かつグローバルに展開できる製品群

サクラループの拡販

エンジンオイル用潤滑油添加剤「アデカサクラループ」シリーズ

エンジン内部の摩擦・摩耗を低減

燃費 **1 %** 向上
(CO₂ 排出低減)

- ・ エンジンの保護
- ・ エンジンオイルの長寿命化
- ・ 世界**オンリーワン**の“**素財**”

当社製品の対象

自動車（エンジンオイル）



新車向け工場充填油
(FF油：ファクトリーフィル)



交換用オイル
(AM油：アフターマーケットオイル)

販売機会の増加（世界市場）

■ オイル市場規模（2021年度）



■ 当社品の採用率イメージ ■ = 当社品



FF油

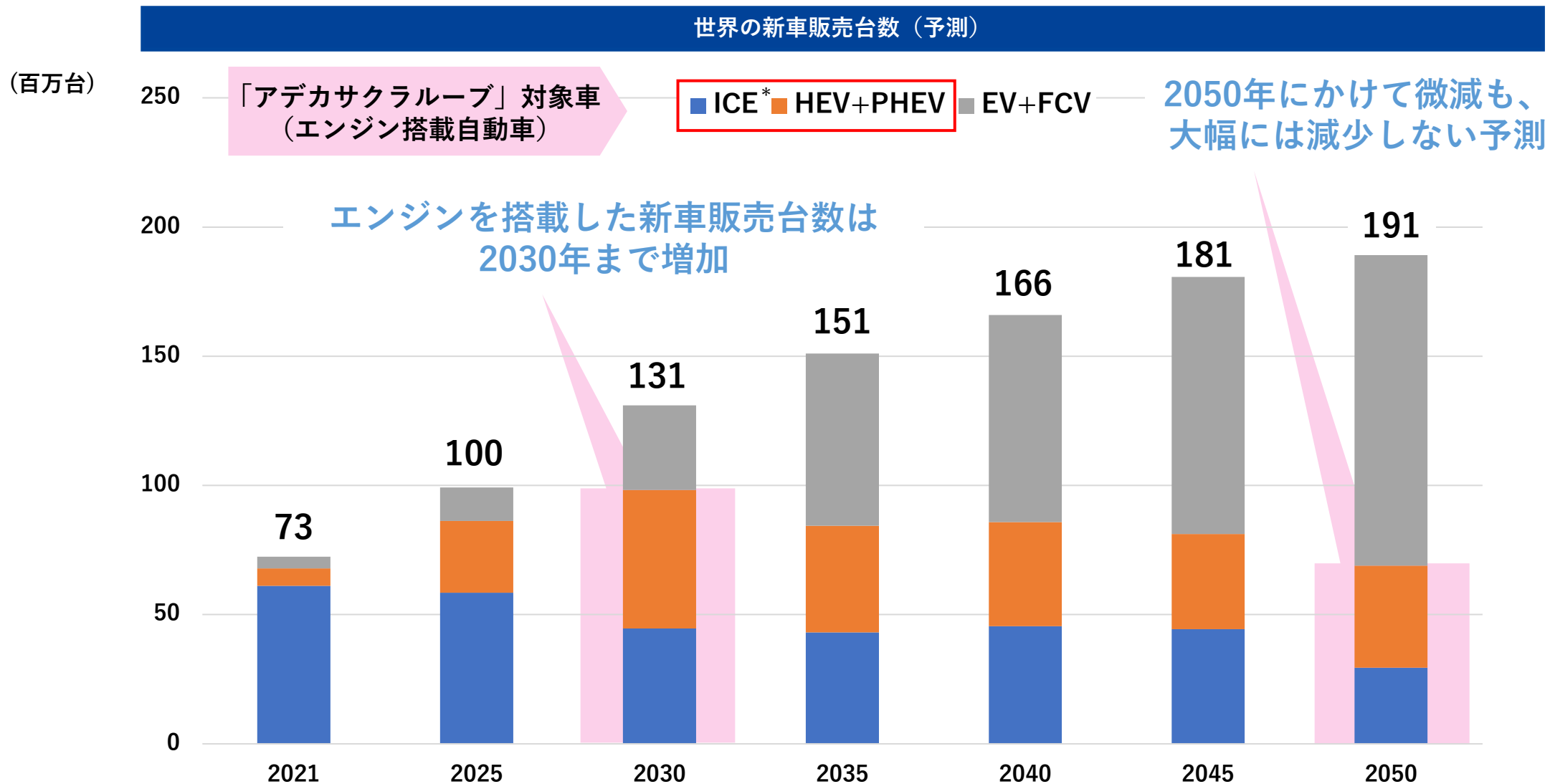
HEV、PHEVへの採用率が高く
販売数量が堅調に増加する見通し

AM油

配合ノウハウを活かし顧客サポートを充実
米国、中国、新興国を中心に拡販

“CO₂削減”のため省燃費油の需要増加、米国・中国・新興国をターゲットにAM油の市場開拓を推進
2030年以降のEV比率拡大も、サクラループはAM油への展開強化と領域拡大により安定収益を獲得

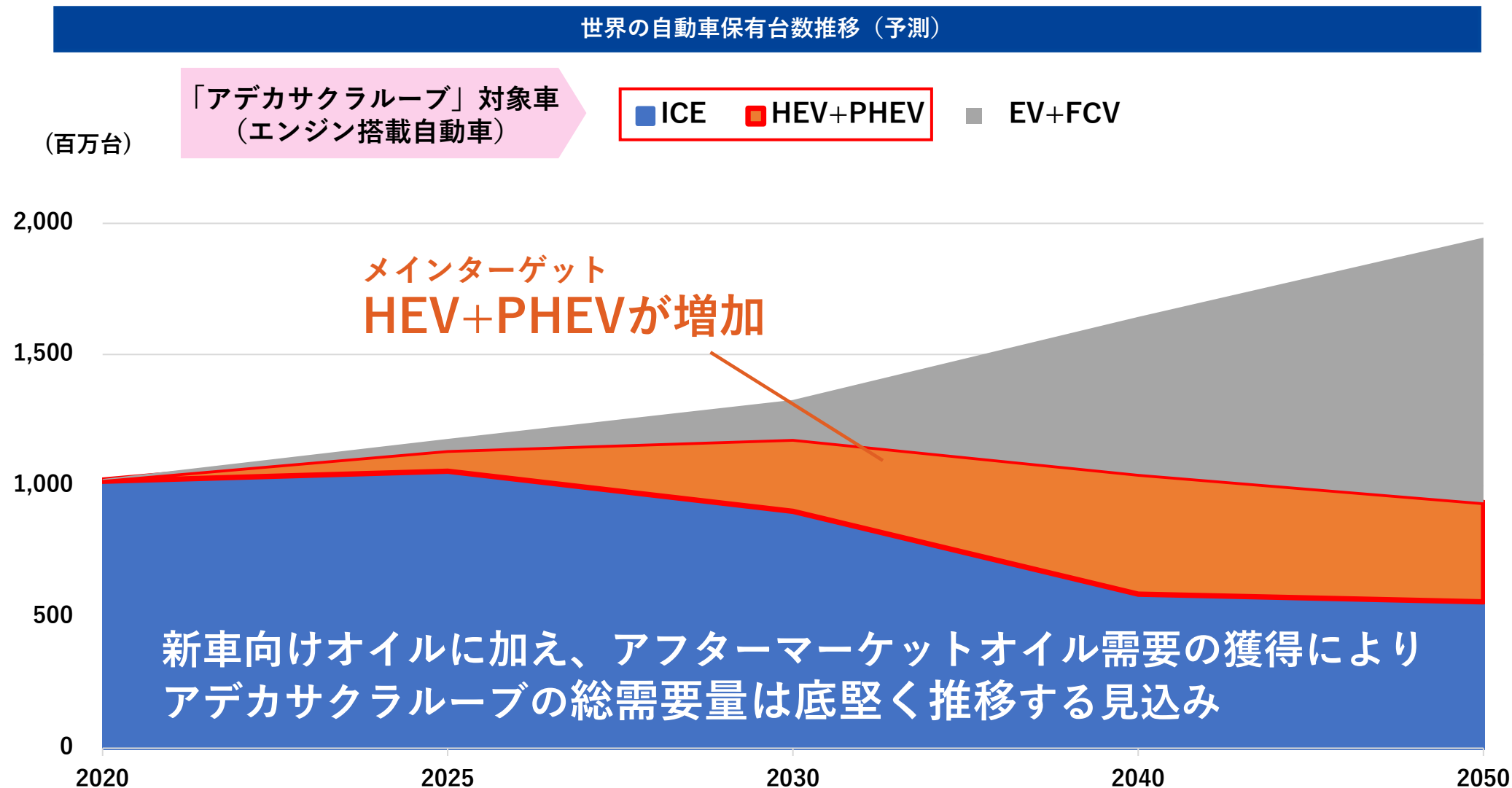
サクラループ対象自動車の市場動向(新車)



* ICE（インターナル・コンバッション・エンジン）：内燃機関車

** 当社調べ（2022年8月）

サクラループ対象自動車の市場動向(自動車保有台数)



* 当社調べ (2022年8月)

機能化学品の将来像

～ 次世代自動車向け配合品および
環境配慮高付加価値製品をグローバルに拡販 ～

機能化学品のありたい姿・KPI

2030年度 ありたい姿

ADEKAの技術で、
持続可能な社会と豊かなくらしを実現させる、
未来（2050年）創造カンパニー

Back cast

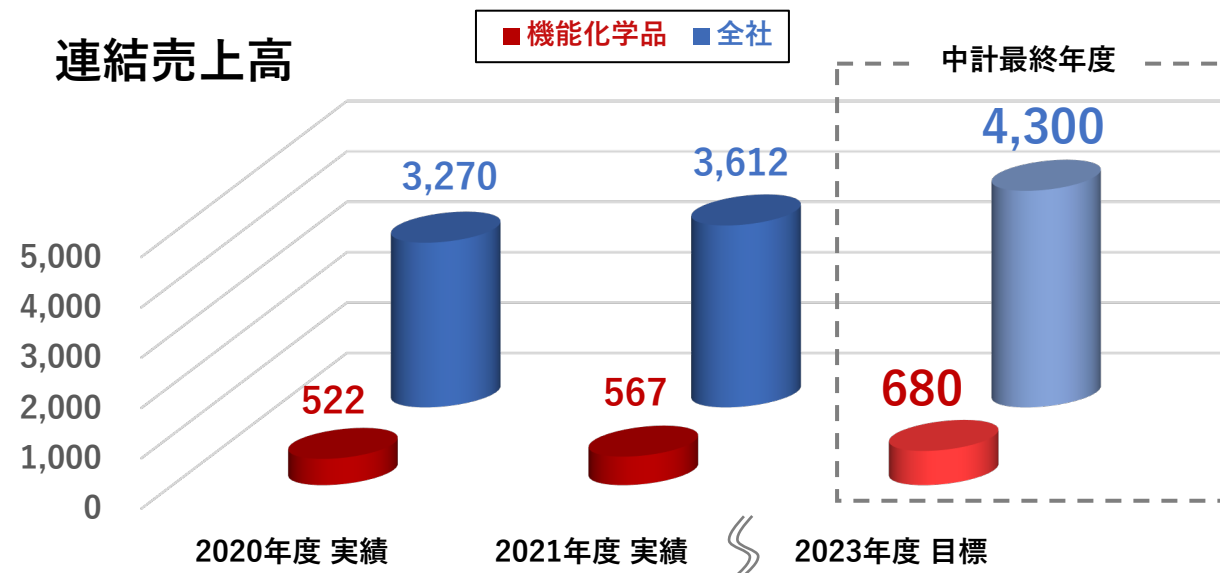
2023年度 あるべき姿

成長分野（次世代自動車、インフラ）向けを
ターゲットとし、
環境に配慮した製品を積極的に提案する企業

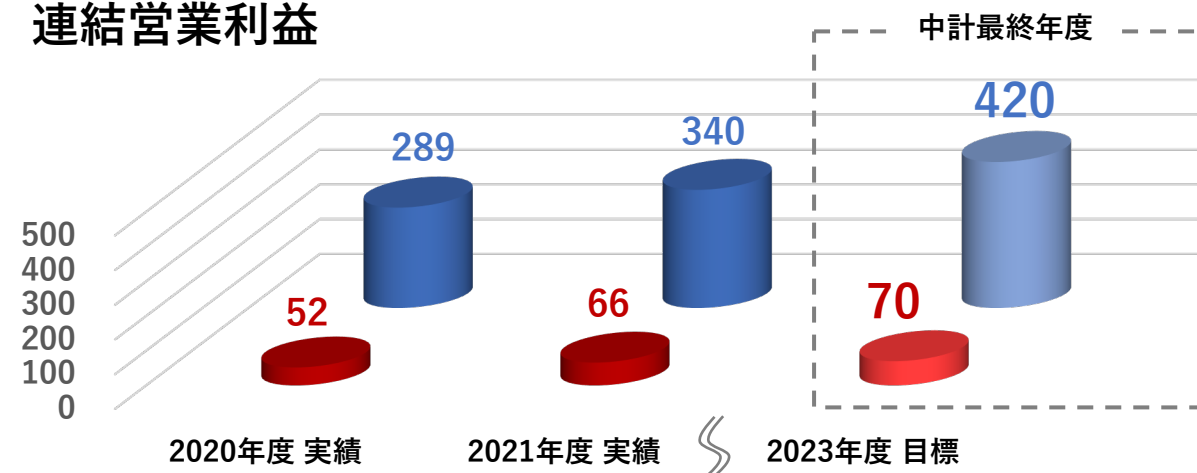
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

連結売上高



連結営業利益



ターゲット市場へ経営資源を集中

次世代自動車分野

- ・蓄積してきたノウハウを活用し、次世代自動車ニーズに対応した新製品を開発
- ・接着接合技術、配合技術、高分子機能化技術を活用し、自動車の技術革新に貢献



車載用
カメラモジュール



ECU*基板



構造用接着付与剤
(ウェルドボンド)



保護塗料用材料

環境配慮分野

- ・VOC規制に対応する「人と環境に優しい」事業拡大と新規事業の創生
- ・高分子機能化技術、界面制御技術を活かして社会貢献できる素材を提案



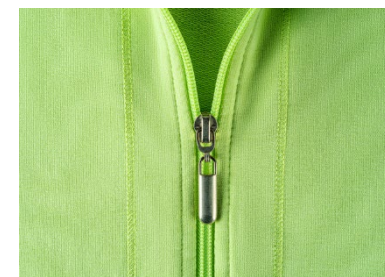
塗料用途材料



粘接着剤用途材料



防食塗料



衣料品素材

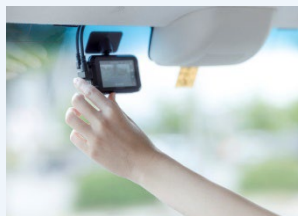
* ECU：エレクトロニックコントロールユニット

電装化を実現するエポキシ樹脂接着剤

エポキシ樹脂接着剤「アデカレミロップ」シリーズ

電子部品などの
高精度接着・接合

当社製品の対象

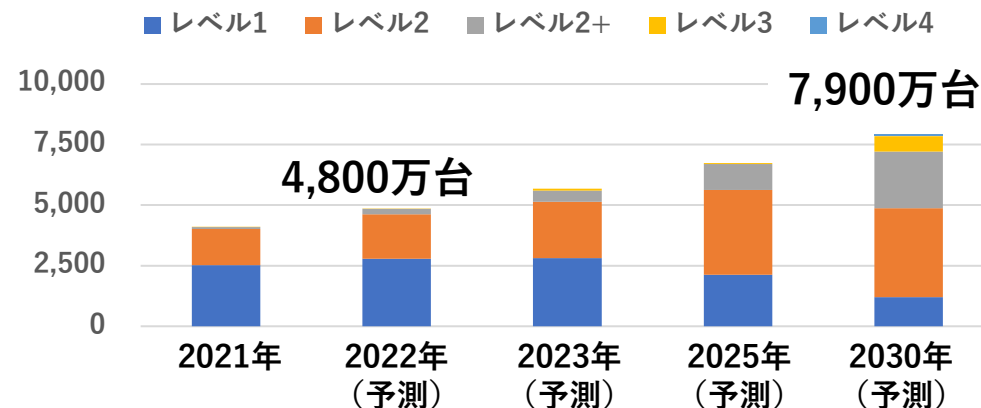


車載用
カメラモジュール



ECU基板

市場動向：ADAS／自動運転システム台数推移



出典：株式会社矢野経済研究所の公表資料をもとに当社で作成
同社ウェブサイト：https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3043

エポキシ樹脂接着剤の新プラント建設予定

建設場所

三重工場

営業運転開始

2023年度中（予定）



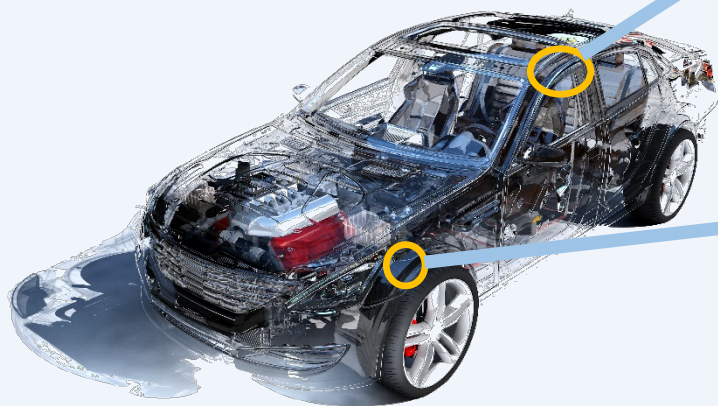
▲ 三重工場

精密部品の固定化技術の改良に貢献 → 新プラントを建設・ニッチトップの製品へ育成

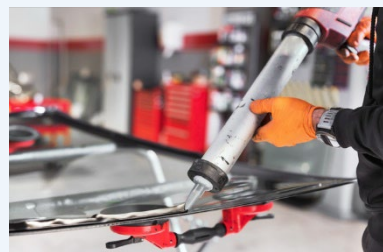
軽量化を実現する特殊エポキシ樹脂

自動車用特殊エポキシ樹脂「アデカレジン」シリーズ

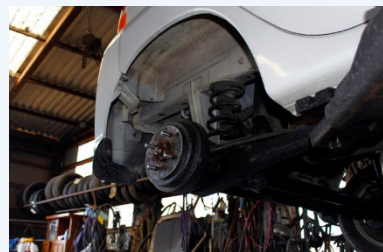
鉄とアルミなどの
異種材料の接着



当社製品の対象



構造用接着付与剤*
(ウェルドボンド)



保護塗料用材料**

自動車材料で培った
技術を展開

対象分野の拡がり



構造材料の、
軽量化、高強度化、高速硬化で
大型化、長寿命化を実現

自動車の軽量化を実現・省エネへ貢献 → 自動車の軽量化で蓄積したノウハウを他領域へ展開

* 自動車ボディのスポット溶接代替

** 車体下部の保護塗料

自動車用特殊エポキシ樹脂の海外展開

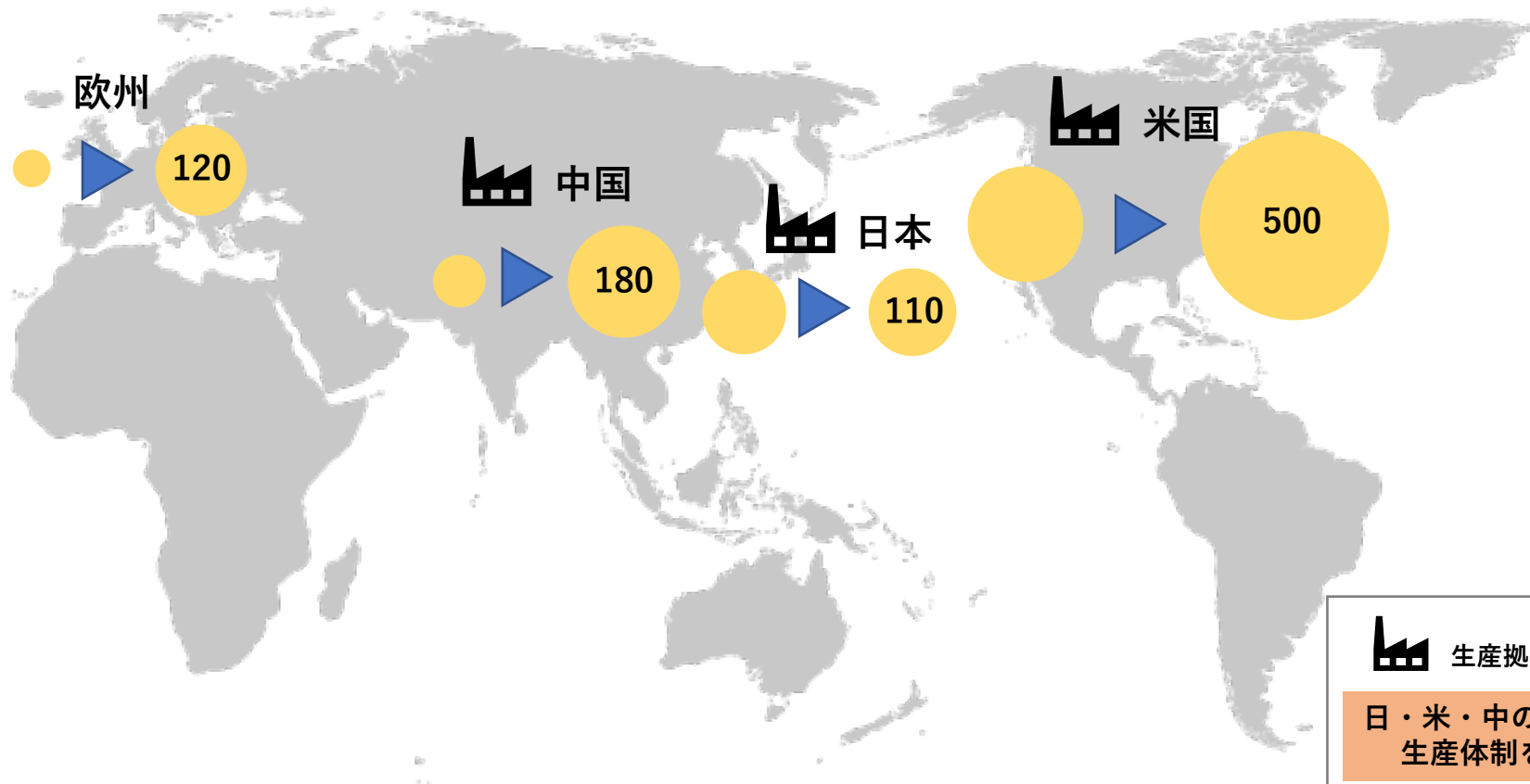
自動車用特殊エポキシ樹脂の販売数量予測

2021



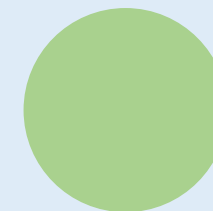
2030

2021年度日本出荷実績を
100として比較

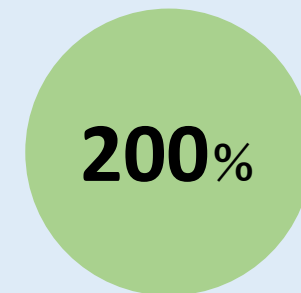


自動車用特殊 エポキシ樹脂 売上目標

2021年



2030年



日本・米国・欧州・中国におけるターゲット顧客との連携強化、グローバルニッチトップへ育成

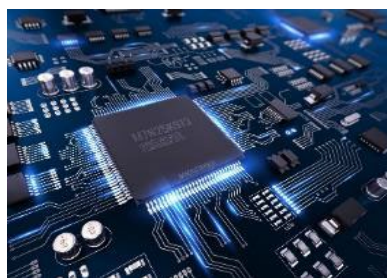
ターゲット市場へ経営資源を集中

次世代自動車分野

- ・蓄積してきたノウハウを活用し、次世代自動車ニーズに対応した新製品を開発
- ・接着接合技術、配合技術、高分子機能化技術を活用し、自動車の技術革新に貢献



車載用
カメラモジュール



ECU基板



構造用接着付与剤
(ウェルドボンド)



保護塗料用材料

環境配慮分野

- ・VOC規制に対応する「人と環境に優しい」事業拡大と新規事業の創生
- ・高分子機能化技術、界面制御技術を活かして社会貢献できる素材を提案



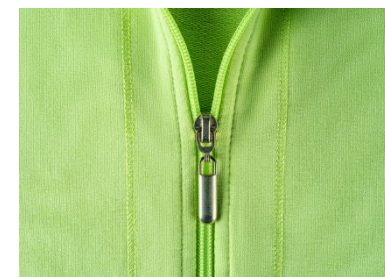
塗料用途材料



粘接着剤用途材料



防食塗料



衣料品素材

環境配慮分野の提案型企業を目指して

当社の取り組み

「人と環境に優しい」
事業拡大と新規事業の創生



水系コーティング材料

VOC*低減に貢献する、人と環境に優しいコーティング材料

- **反応性乳化剤**
アクリル樹脂原料
- **水系樹脂**
ウレタン樹脂、エポキシ樹脂

当社製品の対象

塗料、粘接着剤



化粧品原料

汎用・機能性原料から人に優しい天然素材まで、幅広いラインナップ

- 化粧品用グリコール
- 水系ゲル化剤
- 天然由来原料

* VOC：揮発性有機物質

反応性乳化剤の事業拡大

反応性乳化剤「アデカリアソープ」シリーズ

当社製品の対象

アデカリアソープを含むアクリルエマルジョン ⇒ **水系化・高耐水性・高耐食性**



塗料用途

+ 原料A



アデカリアソープ



+ 原料B



粘接着剤用途

使用量の増加背景



塗料



「インド・中国・中東の生活様式変化」 「VOC低減」 により需要が拡大

粘接着剤



- ・ FDA認証※取得で主に欧米向け食品包装材料へ領域拡大
- ・ 浸潤によるラベルの変色・剥がれ防止
- ・ マイクロプラスチック対策

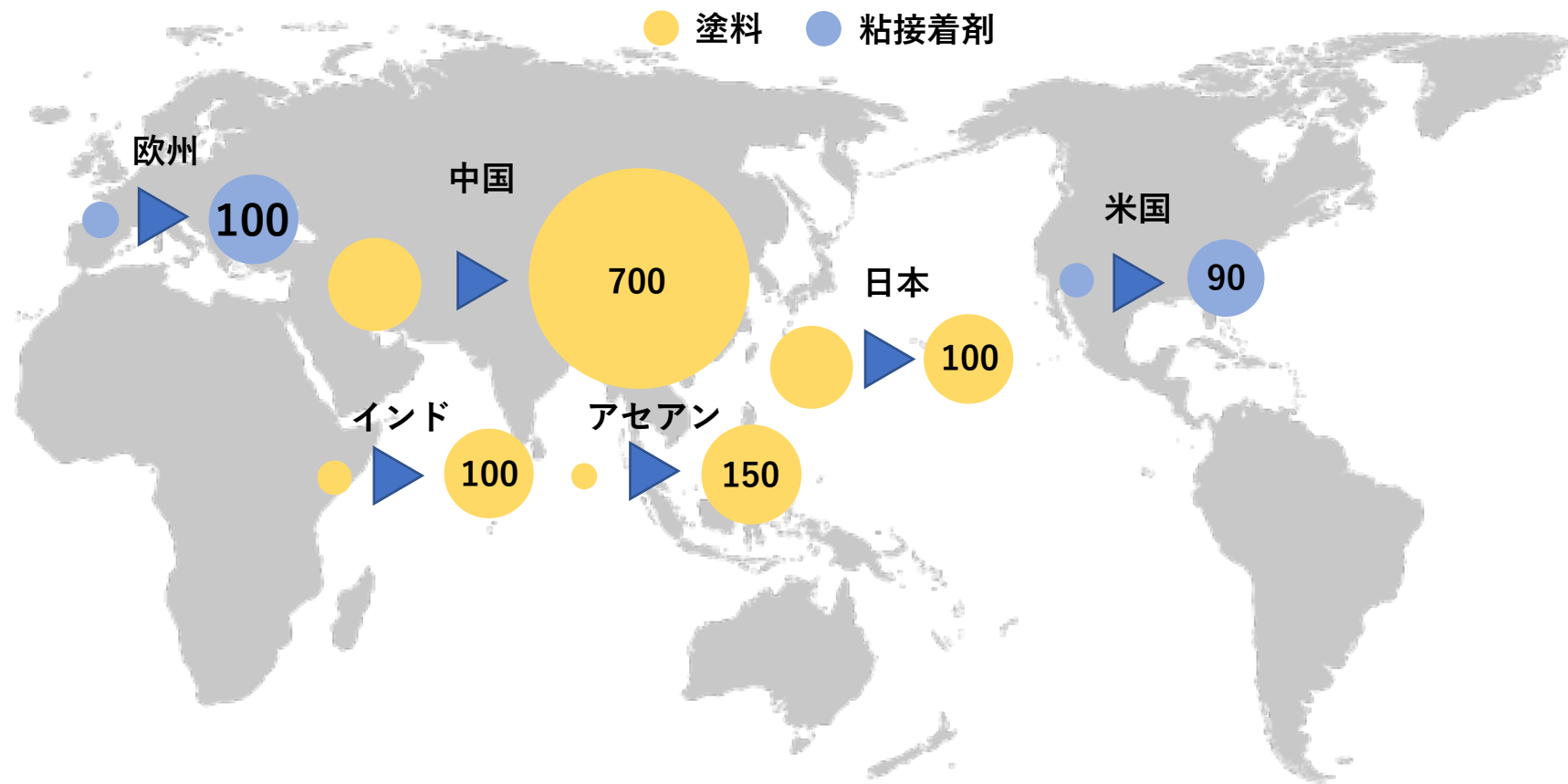
※FDA：アメリカ食品医療品局

人と環境に優しい塗料・粘接着ニーズの顕在化 → 「アデカリアソープ」の提案により顧客満足を向上

反応性乳化剤の海外展開

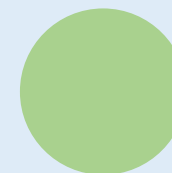
反応性乳化剤の販売数量予測

2021 2030 2021年度の日本販売量を100として比較

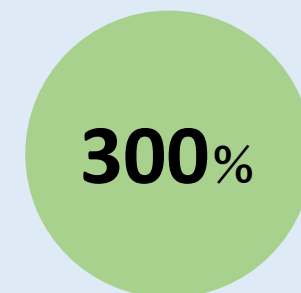


反応性乳化剤 売上目標

2021年



2030年



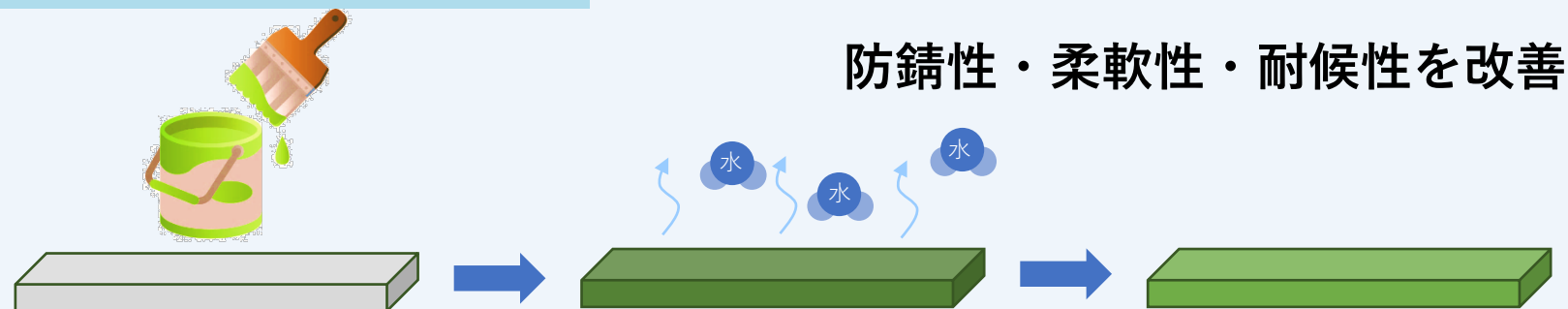
300%

塗料用途は中国・インド・東南アジア、粘接着剤は欧米で需要増 → グローバルニッチトップを目指す

水系樹脂「アデカボンタイター・アデカレジン」シリーズ

溶剤系から水系へ転換

VOCの低減



当社製品の対象



自動車部品

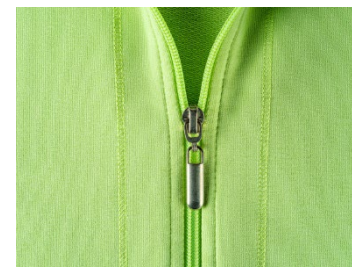


農業用フィルム

当社分野の拡がり



海外重防食塗料
(中国政府の規制強化)



アパレル業界
(エコテックス認証)

水系樹脂の売上目標

2021年



2030年

300%

中国・環境規制の強化 → 中国イノベーションセンターと連携し、中国市場のマーケティング推進

2030年につながる新製品開発（環境配慮分野）

社会価値

再生可能
エネルギーの拡大

課題解決に向けた新製品開発

風力発電ブレード用CFRP（繊維強化プラスチック）



- ・ 風車ブレード等、構造材料の軽量化、高強度化
- ・ 簡便・短時間での成形が可能
- ・ 大型化、長寿命化を実現

大気環境保全

船舶用燃料添加剤

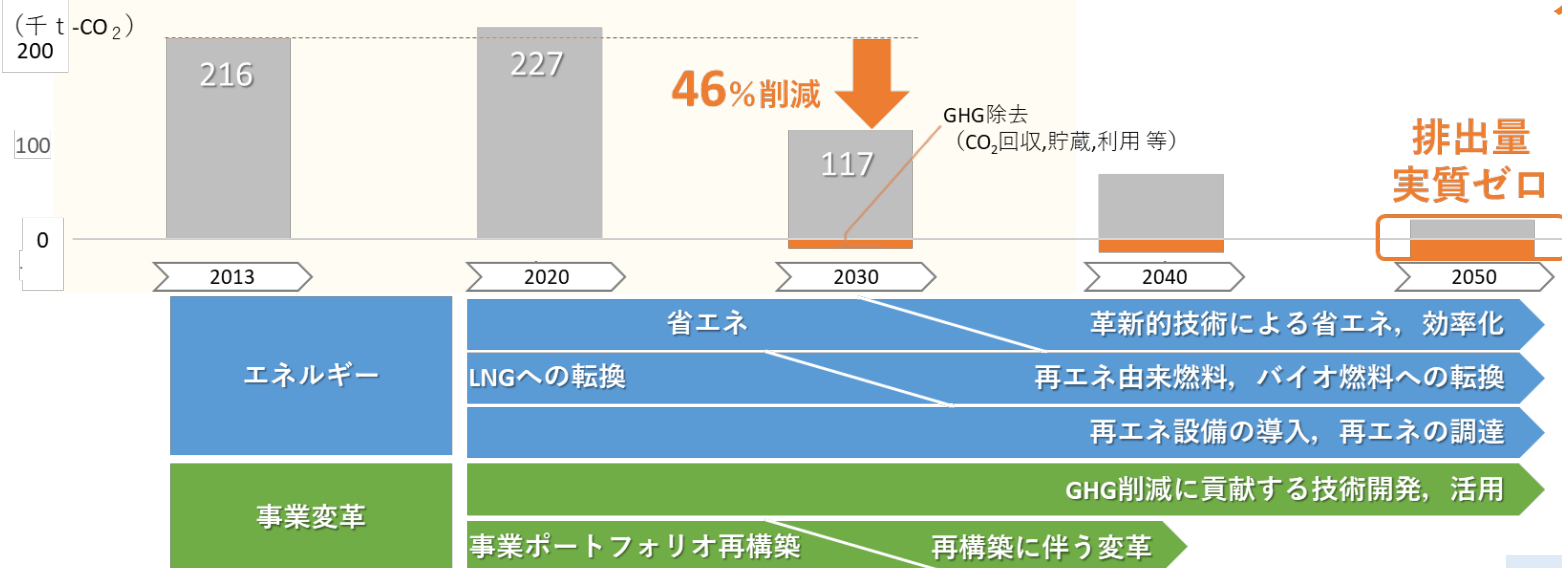


- ・ 船舶用燃料の硫黄含有量規制強化に対応
- ・ 既存品で不足している性能を改善
- ・ 日本及び海外主要港で供給開始
販売実績を積み、海外供給拠点を拡大していく

カーボンニュートラルへの対応

(1) 事業活動に伴う G H G 排出量削減

2030年目標 (Scope 1+2) **46% 削減** (2013年度対比)



ADEKAグループ
2050年
カーボンニュートラルを目指します

(2) 技術・製品の創出による G H G 削減貢献

- ・ サプライチェーン全体における G H G 排出量の精査
- ・ 持続可能な製品の開発、提供
- ・ 持続可能な原料調達の推進
- ・ 物流最適化、環境に配慮した物流の推進 など

持続可能で競争力のある工場づくり → 選択と集中を推進、CO₂削減を実行

機能化学品

選択と集中
を実行

高付加価値
製品
へ事業シフト

中期経営計画『ADX 2023』

取り組む領域

次世代自動車分野

環境配慮分野

カーボンニュートラル対応

2023年度（目標）

営業利益 **70** 億円
（売上高 **680** 億円）